

NPO法人

2006年(平成18年)3月31日

体協だより

第2号

発行：特定非営利活動法人 羽村市体育協会



第36回総合体育大会開催

第36回羽村市総合体育大会が、平成17年7月2日に行われた総合開会式をかわきりに平成18年2月12日まで、26種目に渡って開催されました。

写真：総合開会式（上）、選手宣誓（左）

今号の主な内容

- | | |
|--|----|
| ◇平成17年度の活動を振り返る
指定管理者への取り組み／主催・主管事業の概要／上部団体等の大会
その他の活動／共催・協力事業 | P2 |
| ◇平成17年度財政状況の公表 | 4 |
| ◇団体のひろば | 5 |
| ◇役員研修会を終えて | 8 |
| ◇トレーニングルームをご利用ください！ | 8 |

平成17年度の活動を振り返る

1. 指定管理者への取り組み

羽村市体育協会は、平成16年4月1日から新しい団体（NPO法人）としての事業を開始し、2年が経過しました。

平成17年度は、これまでのスポーツ振興事業に加え、「社会的地位の確立」と「財政基盤の確立」という二つの大きな目標の実現に向けて、羽村市弓道場を指定管理者として管理運営を行うなど、新たな取り組みを開始しました。

弓道場の利用実績としては、年間で、およそ6,000人の方の利用があり、弓道教室や弓道大会、講習会を開催し、多くの参加を得ることができました。

さらに、羽村市スイミングセンターの指定管理では、大和興産㈱との共同で管理運営を行うことで指定管理者としての指定を受け、平成18年2月15日に羽村市と協定を締結し、平成18年4月1日から平成22年3月31日まで指定管理することとなっています。

2. 主催・主管事業の概要

体育協会の主な目的の一つ、「地域スポーツの振興」のために、平成17年度も、体育協会主催の事業や各種大会を主管しました。

(1) 第36回羽村市総合体育大会

【種目】26種目

軟式野球・水泳・ラジオ体操・バスケットボール・ソフトボール・剣道・少年野球・バレーボール・陸上・柔道・弓道・空手・バドミントン・卓球・テニス・居合道・ゲートボール・ソフトテニス・サッカー・スキー・中学軟式野球・ダンススポーツ・カヌー・駅伝・ゴルフ・なぎなた

(2) 第58回羽村市民体育祭

10月9日に開催された市民体育祭では、

体育協会として準備・運営を担い、78名の実行委員を派遣しました。

体育祭は、一般市民、町内会・自治会など、17種目に3,966人が参加し、無事実施できました。



◆市民体育祭（総力リレー）

(3) 第30回御岳～羽村完歩大会

市民の体力・健康増進のために開催している御岳～羽村完歩大会は、今回で30回を迎えました。年々、参加者が減少していますが、119人の参加で開催することができました。



◆完歩大会

(4) 第20回NHK西東京営業センター杯争奪ふれあい綱引き大会

羽村市教育委員会との共催事業として、平成18年1月29日に実施しました。今回は、20回という節目の大会となりました。

町内会・自治会11チーム、一般男子5チーム、一般女子5チーム、男女混合4チーム、小学生10チームの計35チーム、353人が参加しました。



◆綱引き大会

(5) 第24回羽村市駅伝大会

3月5日、富士見公園付近をコースとして開催され、羽村市体育協会が主管しました。

今回の参加チームは、町内会・自治会10、中学生・一般女子14、一般男子26、中学男子9、合計59で、参加者数は、335人でした。



◆駅伝大会（中継地点）

(6) 役員研修会

平成18年3月26日、スポーツメンタルトレーナーの高畑好秀氏（日本心理学認定心理士）を講師に迎え、研修会を開催しました。テーマは、「勝ちに行くメンタルトレーニング」。参加者は48人。



◆講演される高畑好秀先生

3. 上部団体等の大会

(1) 都民大会春季大会

第58回都民大会に、13種目、役員14人、選手218人が参加。

男子ソフトボール競技が2年連続となる優勝を果たし、女子ゲートボール競技が5位入賞となるなど、健闘しました。



◆都民大会開会式入場行進

(2) 第39回市町村総合体育大会

7月24日、町田市民ホールで開会式が行われました。羽村市からは、陸上・ソフトテニス・バレーボール・卓球・水泳・剣道・弓道・ゲートボール・空手・軟式野球の10種目に133人が参加しました。

(3) 第15回西多摩地域広域行政圏体育大会

平成17年11月に福生市・日の出町を会場に開催され、羽村市からは、バレーボール・バドミントン・テニス・ゲートボール・インディアカ・卓球・綱引き・ソフトテニス・陸上競技・ソフトボール（ファーストピッチ・スローピッチ）・軟式野球・グランドゴルフの13種目に237人が参加しました。



◆広域行政圏体育大会閉会式

4. その他の活動

羽村市体育協会では、市民並びに会員が、円滑にスポーツ大会を運営できるよう、教育委員会に協力し、年間の大会等のスケジュールを取りまとめたスポーツカレンダーを作成しています。

また、年間の事業としては、

- ①スポーツトレーナーによるトレーニングルームでの指導・運営
 - ②スイミングセンターの受付業務
 - ③富士見公園クラブハウスの運営
 - ④小学生ミニバスケットボール教室
 - ⑤スポーツ教室（バドミントン・テニス・卓球・水泳・インディアカ）の開催
 - ⑥アクアビクス
- を実施しました。

5. 共催・協力事業

羽村市体育協会では、羽村市や関係機関との協働による様々な事業を実施しました。

健康づくり教室、健康体力相談、健康づくり講座を共催として実施するとともに、

- ①市民チャリティゴルフ
 - ②都民大会女子ソフトボール
 - ③心身障害者スポーツ・レクリエーションのつどい
 - ④羽村市・北杜市高根町交流ゲートボール大会
 - ⑤羽村市少年少女球技大会
 - ⑥はむら夏まつり
 - ⑦高齢者レクリエーションのつどい
- などに協力しました。

◆はむら夏まつり（パットゴルフ）



平成 17 年度 財政状況の公表

羽村市体育協会の平成 17 年度における財政状況の概要についてお知らせします。

最終的な報告は、定期総会における決算報告となりますので、ご承知おきください。

【収入】	(単位：千円)
1 会費・入会金	1,515
2 事業収入	55,443
大会等の開催	13,000
トレーニングルームの運営	19,974
スイミングセンター受付	9,490
クラブハウス公園管理運営	7,680
公園除草	4,500
弓道場指定管理	799
3 補助金等収入	1,761
4 寄付金収入	0
5 その他収入	1,067
合計	59,786

【支出】	(単位：千円)
1 事業費	57,673
2 管理費	752
3 積立金	500
4 予備費	0
合計	58,925

全体の財政規模は、約 6,000 万円となりました。そのうち、事業収入が 9 割を占めています。当期の収支差引では、86 万円程度の黒字となる見込みです。

市民皆様並びに事業所からの賛助会費については、116 万円で、概ね当初の予定を収入することができました。ご協力ありがとうございました。

支出の部では、体育施設の管理・運営に約 3,700 万円、スポーツ事業運営に約 1,165 万円などが執行される見込みです。今後も効率的な財政運営に努めてまいります。

☆☆☆ 団体の広場 ☆☆☆

羽村なぎなた連盟が 羽村市体育協会に加盟

平成 15 年に発足した羽村なぎなた連盟が、平成 17 年度から羽村市体育協会に加盟し、全体の加盟団体数が 22 団体となりました。

羽村市体育協会の加盟団体として、他の競技と同様、普及発展に努めていってほしいと思います。

□羽村なぎなた連盟

当連盟は、平成 15 年に発足し、会員は一般 17 人、学生 25 人おり、小学生から高齢者の方まで楽しんで活動しています。



「なぎなた」は、日本の伝統文化として歴史があり、有酸素運動として心身に適した運動としても知られています。また、高齢になってもできる運動です。

練習は、毎週木曜日の午後 7 時から 9 時 30 分まで羽村第二中学校武道場、毎月 2 回土曜日には場所不定で行っています。

性別・年齢を問わず、随時会員を募集していますので、ぜひ一度お越しください。



会員には、東京都なぎなた大会で 2 位、3 位に 2 年連続で入賞する方もいます。指導体制は磐石ですので、羽村市民の皆様もぜひ体験してみてください。

【連絡先】湯本 042-555-5473

□陸上競技クラブ

羽村市陸上競技クラブは、現在、会員数 31 人、都民大会、市町村総合体育大会、西多摩地域広域行政圏体育大会等の対外大会への選手派遣のほか、羽村市総合体育大会陸上競技を主管し、小中学生を中心に多くの選手の参加により盛大な大会運営を行っています。

☆平成 17 年度総合体育大会のトピックス

1. 羽村市総合体育大会陸上競技の部

9 月 17 日（土）富士見公園

延べ 300 余名が出場

大会新記録：1 名

2. 羽村市総合体育大会ジュニア駅伝の部

10 月 22 日（土）

113 チーム 442 名参加（市内 6 つの小学校から参加）

大会新記録：3 チーム

いずれの大会も多くの子供たちの参加のもと、応援の父兄の皆様の熱のこもった声援とともに、活気にあふれた競技が繰り広げられています。特に、着順や記録に関しては、父兄の関心も高く、クレーム等の発生なきよう我々競技役員も緊張感の中、大会運営に励んでいます。

また、将来を担う子供たちの真剣に競技する姿には清しきさを感じるとともに陸上を愛する我々にとっても大いなる希望を与えてもらえる大変有意義な大会となっています。

す。

□羽村市空手道連盟

茂木くん世界大会で優勝

羽村市空手道連盟所属の茂木勇樹くん(羽村一中出身・世田谷学園在学)が、第60回国民体育大会「晴れの国おかやま国体」少年男子組手に東京都代表として出場し5位に入賞。また、第4回世界ジュニア&カデット空手選手権大会(キプロス共和国で開催)には、カデット(16~17歳)男子形及び男子組手70kg以下に日本代表として出場し、形の部で見事優勝という快挙を成し遂げました。

茂木くんは、6歳の時に父親が指導する当連盟の松林支部で空手を始め、数ヶ月後には、近隣の大会に参加するようになり、小学校5年生で都大会初優勝。本人曰く、「初めは空手を嫌々やっていた。練習に行く時間になると父親が帰ってくる前に押し入れに隠れたりしました。」

しかし、都大会で優勝した頃から自発的に練習に取り組むのが指導者の目からも分かりました。その結果、全国中学生大会では準優勝し、名門「世田谷学園高校」に入学。入学当初から頭角を現して、高校選抜、インターハイと春夏制覇、アジア大会では見事優勝を果たし、日本選手初の二種目代表として世界大会出場権を得ました。

当連盟は、スポーツセンター(水・土曜日)、松林小学校(月・水・金曜日)、羽村一中(火・木曜日)、キッズ空手教室(水・木曜日)で活動しています。約120名の会員が所属しており、茂木くん以外にも全国大会・都大会優勝など優秀な選手を多数輩出しています。

そして、チビッコ達も先輩に追い付け追い越せとチャンピオンに成るべく体力向上を図り、日々一生懸命練習をしています。

また、競技以外にも教育委員会から模範青少年として多くの生徒が表彰を受けており、今後の連盟発展を期待するところでありま

□羽村市テニス連盟

テニス連盟の年間事業の主なものは、対外試合参加と連盟内の大会を合わせて24になります。

対外試合は選抜選手の構成で各大会とも善戦し、成果を上げています。

連盟内の大会は、参加会員が日ごろの練習成果を発揮することと、特に親睦を兼ねた大会運営は参加者も多く、大変好評裡に進めています。それは個人戦を改め、チーム編成の団体リーグ戦としたことで、その日は何試合かに参加できることとし、勝敗にこだわらず、その日一日テニスゲームを楽しむ大会に切り替えたことです。

今後も、この形は続けて、より楽しい連盟活動を守っていきたいと考えています。

テニス連盟は、新入会員の門戸をオープンにしていつでも歓迎しています。

また、毎週水曜日のスポーツセンターのテニス教室、毎年春前に開催するテニス教室も、羽村市のスポーツ憲章のひとつ「市民皆スポーツ」に積極的に参加しています。



□羽村市ゲートボール協会

いろいろスポーツを体験したなかで、一部の大会を除けば、ゲートボールは男女混成という珍しい競技です。縦15m横20mの長方形土俵の中で、赤白5個ずつ、ボールを使用し、5人対5人のチーム対抗形式競技で、リーダーが作戦を立て、その都度選手に指示されます。その目的を達成し、勝利をチームに導い

た時は、言葉で表現できない感動を受けます。

昨年に続き、都民大会では、本年度も、女子の部で5位に入賞、市町村大会は、4位に入賞、西多摩地域振興大会は3位と、優秀な成績を残しました。

最近では、競技者も高齢に伴い、年々減少しており、協会としては、壮年層の参加を呼びかけており、多数の参加をお待ちしています。

詳しくは、ゲートボール協会または体育協会事務局にお問合せください。

□羽村市舞踊連盟

☆はむら夏まつり

昨年夏、賑やかな祭囃子の音とともに、第30回はむら夏まつりが開催された。毎年、夏まつり民踊流しに参加し、市役所通りから羽村駅前まで「羽村音頭」「羽村よいとこ」を踊り流す。30回記念に羽村市イメージソング「出会いの街」の踊りも披露しました。参加者は125名。

☆風のおわら

9月24日、宮の下運動公園で催された「風のおわら」も、3回目となり、「越中おわら節」の宙返り、稲刈りの難しい振りも4回の講習会でマスターし、本番では、一本杉の土手の流し踊りは、見事なものでした。

当日は、小雨の中でしたが、60名の参加がありました。

☆ふるさとまつり

10月1日は、小作駅前の羽村ふるさとまつりに参加、翌10月2日には、第32回東京ふるさとまつりにも28名が参加し、「出会いの街」「ふるさと津軽節」「京しぐれ」の3曲に出演しました。

大勢の皆様のご支援をいただきながら、活動できましたことを感謝申し上げます。



◆風のおわら（町流し）

□羽村市サッカー協会

☆Jリーグのサッカー教室を開催

東京ヴェルディの「さわやか少年サッカー教室」を昨年10月に開催しました。

こうした地域への貢献活動は、Jリーグの目的の一つでもあり、参加した少年サッカー選手たちは、外部の指導者からの指導を受けたことにより、大きな刺激になったものと思っています。

この教室では、コカコーラがスポンサーになっており、当日は、羽村市内の営業所から、飲料水の提供がありました。

☆西多摩少年サッカー大会

12月に毎年開催している西多摩少年サッカー大会兼羽村市サッカー協会招待大会は、西多摩地域の少年サッカーチームをはじめ、多摩地区、都内、近県から32チームが参加して、盛大に行われました。

この大会には、羽村ライオンズクラブのご厚意で、ボールとトロフィーを寄贈していただきました。ありがとうございました。



◆西多摩少年サッカー大会

☆三多摩サッカー大会を羽村市が主管

三多摩地域のサッカー協会が組織する三多摩サッカー連盟主催のクラブサッカー選手権大会、壮年サッカー大会、女子サッカー大会を、立川市、昭島市、武蔵村山市、福生市、青梅市とともに、羽村市サッカー協会が主管し、宮の下運動公園で2月12日から3月5日まで日曜日ごとに開催しました。

羽村市からは、リーグ戦優勝のFCポコポコがクラブサッカー選手権大会に出場しましたが惜敗。40歳以上を対象とした壮年サッカー大会には、FC羽村シニアが出場しましたが、PK戦で惜しくも敗退しました。

役員研修会を終えて

「メンタルとは不思議なもの…」

3月26日に開催した羽村市体育協会役員研修会のテーマはメンタルトレーニングでした。講師のお話から雑感を述べさせていただきます。

今回の講演で、一番印象に残ったのは、「メンタルとは不思議なもの」ということでした。「心が筋肉や身体に大きな影響を与える」。いつもなら簡単にできるプレーが、いざという時にできない。

「よし、ここで!」と思った瞬間、脳から伝達された信号によって、筋肉が緊張したり、余計な力が入ったりと…。

よく「平常心でいけ」と言う人がいますが、分かっている、これほど難しいことはないと思いませんか。そう言われただけで、平常心でなくなる人もいます。

サッカーのPKで、ゴールキーパーと一対一でボールを蹴る。ゴルフで、50cmのパットを打つ。入れなければというプレッシャーとはずしたときの過去の悪いイメージが蘇ってくる…。確かに、マイナス思考は、身体運動に悪影響を及ぼします。

講師は、こう述べられました。

「平常心で行こう。力を抜こうと考えたときには、もう、筋肉は反応しています。ボールが入るところをイメージするとともに、そのプレー自体のことではなく、サッカーって楽しいな、ゴルフは本当に面白いなというポジティブな別なことを考えることも大切です。」また、「疲れて注意力が散漫になったり、集中力が途切れたときにもミスがでます。」ということです。

メンタルを強くするには…実践の試合などの身体運動のなかから、よいイメージの経験を積んで、自信をつけていくことではないでしょうか。

皆さんもメンタルを鍛え、試合で普段の力を十二分に発揮してください。

指導広報部

トレーニングルームのご利用を!

羽村市体育協会では、スポーツセンターのトレーニングルームで、体育協会のスポーツトレーナーが、市民の皆様の健康・体力づくりのお手伝いをしています。

疲労回復や肥満予防など、運動による健康づくりの必要性は、多くの方が認識されていると思いますが、なかなか実行できないというのが本音ではないでしょうか。また、何を何の目的で行ったらいいのかわからないという方もいると思います。ぜひ、一度、トレーニングルームを訪れ、気軽にトレーナーに声をかけてください。お待ちしております。

問合せ 体育協会事務局 555-1698

体育協会の情報はインターネットで

特定非営利活動法人羽村市体育協会の定款、スポーツ関連施設の紹介、主催・主管事業の結果、加盟団体の情報、スポーツカレンダーなど、様々な情報を掲載しています。

ぜひアクセスしてください。

<http://www.hamura-taikyo.npo-jp.net>

羽村市体育協会推進目標

1. 加盟団体の組織の育成・強化
2. 未組織スポーツ団体の育成
3. 市民皆スポーツの推進
4. スポーツによる青少年の健全育成
5. スポーツ指導員体制の充実
6. 賛助会員の充実と財源の確保

体協だより 第2号

発行：特定非営利活動法人羽村市体育協会
羽村市羽加美 1-29-5
電話/042-555-1698
発行日：平成18年3月31日
編集：体育協会指導広報部